



# 初めての金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習 (Delta Wall) の実施について

## 金融分野のサイバーセキュリティを巡る状況

金融分野でのインターネットの利用拡大

サイバー攻撃の高度化

サイバーテロの脅威  
(2020年東京オリンピック・パラリンピックも見据えて)



サイバーセキュリティの確保は、金融システム全体の安定のため、喫緊の課題

## 「金融分野におけるサイバーセキュリティ強化に向けた取組方針」(平成27年7月公表)

### 取組方針の5つの柱

1. サイバーセキュリティに係る金融機関との建設的な対話と一斉把握
2. 金融機関同士の情報共有の枠組みの実効性向上
3. 業界横断的な演習の継続的な実施
4. 金融分野のサイバーセキュリティ強化に向けた人材育成
5. 金融庁としての態勢構築

(参考)

✓ 米英では、金融分野における業界横断的な演習を実施

国名	実施主体	演習名
米国	米国証券金融市場協会	Quantum Dawn
英国	イングランド銀行等	Waking Shark

## 金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習

◆ 本年10月24～27日、金融業界全体のサイバーセキュリティの底上げを図ることを目的に、**初めてとなる金融業界横断的な演習(通称: Delta Wall(※))を実施予定**

(※)Delta Wall: サイバーセキュリティ対策のカギとなる「自助」、「共助」、「公助」の3つの視点(Delta) + 防御(Wall)

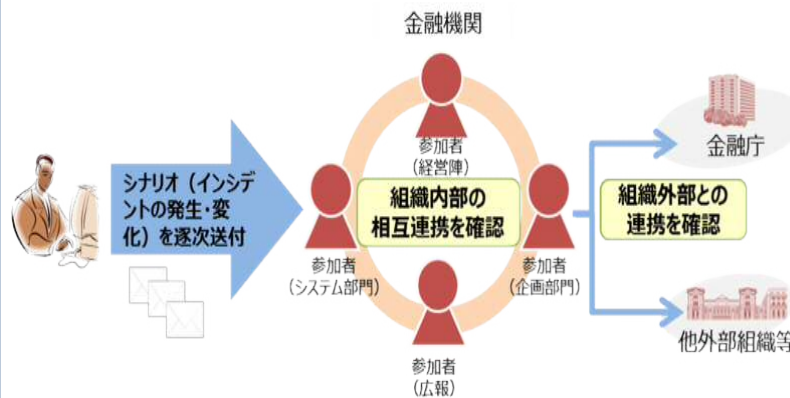
◆ **約80の金融機関(銀行、信金・信組、証券会社及び保険会社)が参加。**今後も継続的に実施予定(注)

(注)29年度は演習実施経費等として約78百万円を予算要求(28年度予算:約45百万円)。また、本演習に係る費用は金融庁と参加金融機関の双方で負担

### 演習の特徴

- 民間コンサル等の演習を利用しにくい**中小地域金融機関が多数参加**
- 多くの関係部署(経営層、システム部門、広報、企画部門等)が参加できるよう、**自職場参加方式**で実施(⇔会場集合方式)
- 民間の**専門家の知見や攻撃の実例分析等を参考**にしつつ、金融機関が陥りやすい弱点が浮き彫りとなり、**参加者に「気づき」を与える**ことが可能な内容
- 参加金融機関が「つつがなく演習をクリア」したことで良しとしないよう、「とり得た他の選択肢」等を提示するなど**事後評価に力点**
- 本演習の結果は、参加金融機関以外にも**業界全体にフィードバック**

### 演習スキーム



### 【シナリオの一例】

- ✓ 自社ウェブサイトを開覧した者からウイルスに感染したとの苦情
    - 組織内部の情報共有、初動対応の確認
  - ✓ 自社ウェブサイト、ウイルスが仕込まれていることが発覚
    - 対処方法の確認・実施、当局等外部関係者への連絡
  - ✓ 顧客・マスコミからの問合せ
    - オンラインサービス停止等の経営判断、顧客等への周知
  - ✓ ウェブサイトの復旧の準備が完了
    - 外部関係者への連絡、顧客等への周知
- (参考)
- ・ 本演習では、上記のほか、サイバー攻撃予告、ウイルス感染による情報流出のシナリオを用意